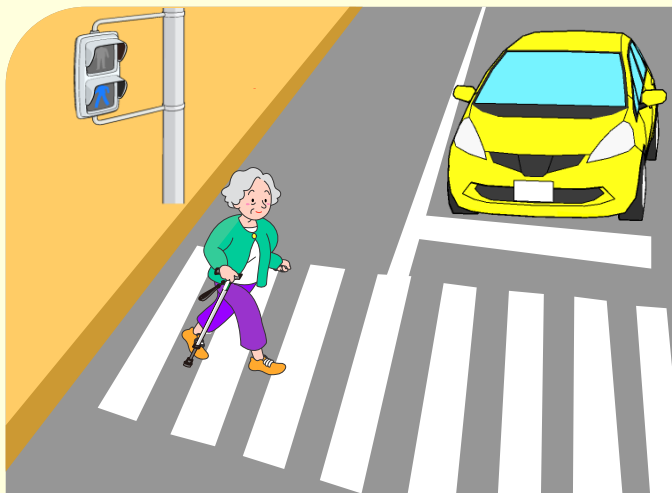


# 高齢者の交通安全

道路横断中や車道歩行中に事故が多く発生しています



遠回りでも、安全のため横断歩道を渡りましょう

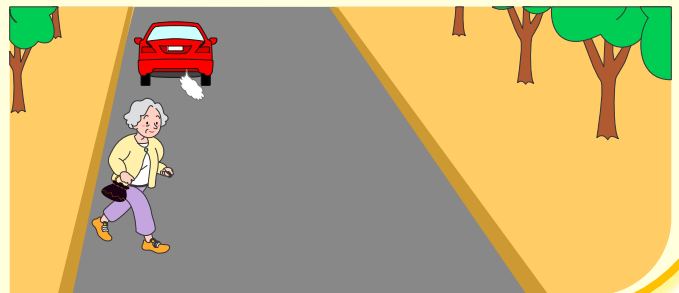
信号機のある横断歩道では必ず信号の色を確認、青信号で渡りましょう。

青信号の途中から渡り始めると、横断の途中で赤信号になるかもしれません。安全のため、次の青信号まで待ってから横断する心のゆとりを持ちましょう。

安全確認は渡り始める前だけではなく、横断中も車が曲がって来ないか周りをよく見ましょう。

横断歩道がない場合は、道路の左右が見通せる場所まで行き横断しましょう。

右左の安全をしっかりと確認し、車の流れが完全に途切れてから渡りましょう。



高齢者の歩行中・自転車利用中の事故の多くは自宅近く(500m以内)で発生しています

「いつも通る道だから…」

「ちょっとそこまでだから…」 そんな油断は禁物です!

「普段は車が少ないから…」



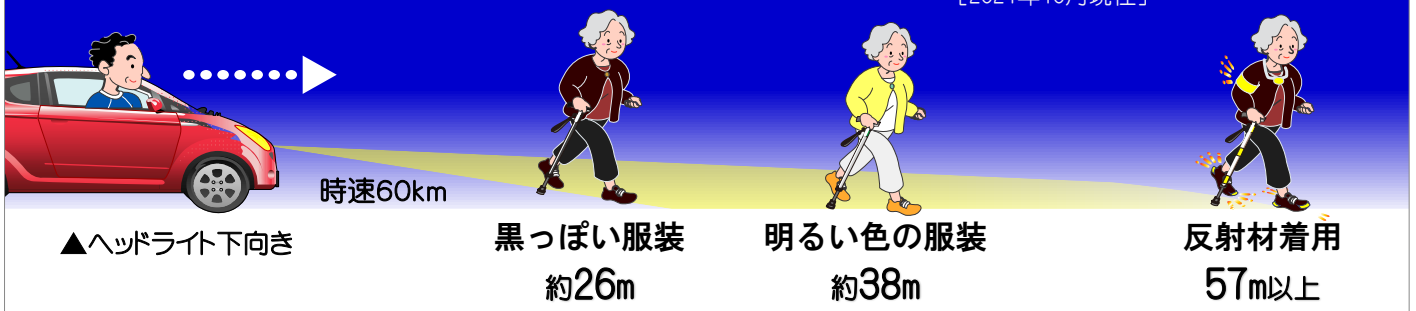
夕方から夜間にかけては、高齢者事故の多発時間帯です

夕暮れ時や夜間の安全は「見せる」が大事!

反射材や明るい服装で、車に自分の存在を早く知らせましょう!

夜、車の運転者から歩行者が見える距離 (一般社団法人 日本反射材普及協会調べ)

[2021年10月現在]



※このテストではJPマークの付いた製品によるもので、面積 2.5㎡かつ117mcd/lux以上の反射材を使用しています。



# こんなこと、していませんか？

## 危険な歩き方・自転車の乗り方！

